

ENCYCLOPAEDIA JUPITER



世界文化大百科事典

ENCYCLOPAEDIA JUPITER

1

アーウ_{チワ}



世界文化社



世界文化大百科事典 《ジュピター》

1

セット商品につき分冊販売不可

発行所 株式会社世界文化社
東京都千代田区九段北4-2-29
Tel (262)5111 (代表) 〒102

発行者 鈴木 勤
編集 株式会社世界文化社
株式会社
日本アートセンター

印刷 株式会社東京印書館
製本 中央精版印刷株式会社
製函 文京紙器株式会社
用紙 神崎製紙株式会社
王子製紙株式会社
駿河製紙株式会社

表紙 ダイニック株式会社

はじめに

私は〈読む〉ことには四つの目的があると思っている。第1は自分の仕事——私のような研究者の場合には専門的研究——に直接に役立つ知識をうるために読む。第2は人としての自分の生き方に発展的影響をうるために読む。第3は常識というか、ただ知ること自体のために読む。第4は娯楽として読む。

〈よい百科事典〉はまさにこの第3として最も有効なものである。そこではそれぞれの項目について、それを真に理解している——真に理解しているというのは、ただ知識として知っているのではなく、その人の専門的研究の推進にその知識が有効に生かされていることである——専門家によって書かれているからである。それで、われわれ素人が読んで〈よくわかった〉ような満足感をうるのである。第3の意義での〈読書〉ではそれで十分である。私は手近なところに百科事典を備えて、ちょっとした疑問があるといつでも利用している。なかなか楽しいものである。

日本学術会議会長
東京大学教授

江 上 不 二 夫

編 集 委 員

(五十音順)

東京都立大学教授

玉川大学教授

成城大学教授

名古屋大学名誉教授

国学院大学教授

東京工業大学教授

大正大学助教授

早稲田大学教授

東京都立大学助教授

慈恵医科大学付属病院

東京水産大学教授

和光大学学長

慶応義塾大学教授

慶応義塾大学講師

九州大学教授

東京農業大学教授

早稲田大学教授

東京農工大学教授

昭和女子大学学長

中央大学教授

生 物

地 理

映 画

物 理

神 道

工業化学

仏 教

電 気

中国文学

医 学

水 産

教 育

経 済

精神医学

地 学

農 学

演 劇

林 学

有職故実

社 会 学

秋 野 美 樹

浅 井 得 一

浅 沼 圭 司

有 山 兼 孝

安 津 素 彦

池 田 朔 次

石 上 善 応

伊 藤 糾 次

今 村 与 志 雄

岩 井 寛

石 野 誠

梅 根 悟

大 熊 一 郎

小 此 木 啓 吾

片 山 信 夫

金 木 良 三

河 竹 登 志 夫

川 名 明

河 鱈 実 英

樺 俊 雄

東京国立博物館	美術	北村哲郎	法政大学総長	政治	中村哲
早稲田大学教授	金属	草川隆次	東京大学教授	西洋史	中屋健一
早稲田大学教授	民法	黒木三郎	中央大学教授	社会保障	那須宗一
東邦大学教授	医学	桑原章吾	駒沢大学助教授	仏教	奈良康明
一橋大学教授	経済	小泉明	一橋大学教授	中国哲学	西順蔵
学習院大学教授	日本史	児玉幸多	東北大学助教授	美術	西田秀穂
東京教育大学教授	数学	小西勇雄	東京大学教授	外国文学	日高八郎
音楽評論家	音楽	向坂正久	京都大学教授	東洋史	日比野丈夫
東京水産大学教授	海洋物理	佐々木忠義	横浜国立大学助教授	科学史	藤村淳
慶応義塾大学塾長	外国文学	佐藤 朔	都留文科大学学長	宗教	増谷文雄
中央大学教授	マスコミ	佐藤智雄	明治大学教授	労働法	松岡三郎
東京工業大学教授	化学	志田正二	学習院大学教授	日本史	黛弘道
明治大学教授	経営	清水晶	東京国立近代美術館	美術	三木多聞
明治大学教授	宇宙	新羅一郎	東京教育大学教授	西洋哲学	村治能就
神奈川県工業試験所所長	化学	鈴木 篁	東京教育大学講師	仏教	山折哲雄
東京大学教授	人類学	鈴木 尚	東京工業大学教授	科学史	山崎俊雄
立正大学教授	行政・政治	鈴木安蔵	埼玉大学教授	日本文学	吉田精一
東京大学教授	国際法	寺沢 一	東京大学教授	医学	吉利和
東京教育大学教授	民俗学	直江広治			
東京大学教授	航空	中口博			

凡 例

この《世界文化大百科事典 ジュピター》は、現代生活のあらゆる分野にわたって必要な項目約70,000を収録した。そして、項目の解説は、その記述内容が的確・敏速に把握できるよう、つとめて簡明・平易なものとしたが、各分野の基本的事項や現代社会における重要問題については特に約300の〈特別大項目〉を設け、一般項目との関連を保ちながら歴史的・体系的に解説し、総括的な理解が得られるようにしてある。また、カラー版による写真・図版約16,000点を全ページにわたって掲載し、内容の端的な理解に役だつようにした。

項目の見出し

- 1) 各ページに収録されている項目を、そのページの上方欄外に示してある。偶数ページには最初の項目、奇数ページには最後の項目の、それぞれ第4音節めまでをかなで示した。ただし、促音〈っ〉・拗音〈ゃ〉〈ゅ〉〈ょ〉などの小字および濁音・半濁音は正音で示し、長音〈ー〉は除いた。

東 京→トウキョ

ヨーロッパ→ヨロツパ

- 2) 項目の見出しは、〈かな見出し〉と〈本見出し〉とを示した。

かな見出し 本見出し

げんじものがたり 【源氏物語】

エヌエイチケー 【NHK】

インキ 【ink】

- 1) 国語読みおよびそれに準ずるものは、現代かなづかいによってひらがなの太字で示した。ただし、現代かなづかいの理解のうえで困難が予想される一部のものについては、〈見よ項目〉を立てて検索の便を図った。

ぬまず 【沼津】 ⇒ぬまづ

- 2) 外国語・外来語はかたかなの太字で示した。長音は〈ー〉で示し、〈ヴェ〉〈ヴィ〉〈ヴ〉〈ヴェ〉〈ヴォ〉〈ヂ〉〈ヅ〉は用いない。

ベートーベン (ベートーヴェンとはしない)

ベネチア (ヴェネチアとはしない)

ただし、外来語の意識が薄れて国語化されたものはひらがなで示した。

らしゃ 【羅紗】

らっぱ 【喇叭】

- 3) 地名で、日本の行政区画および外国の国名・地域名、山・川・湖・砂漠などの名称のかな見出しは、検索の便を図って関連する項目を近くに集めるために固有名詞部分のみを示した。

おおさか 【大阪(府)】

おおさか 【大阪(市)】

ミシシッピ(州)

ミシシッピ(川)

- 4) 中国・朝鮮の地名・人名は、原則として日本で慣用されている国語読みで示し、現地読みを本見出しのあとに併記した。

かほくしょう 【河北省】 ホーベイ省

ふざん 【釜山】 プサン

もうたくとう 【毛沢東】 マオツォートン

ただし、国内で現地読みが慣用されているものおよび国際慣用読みのものはそれに従った。

シャンハイ 【上海】

ペキン 【北京】

メイランファン 【梅蘭芳】

- 5) 本見出しでは、かな見出しのひらがなの部分を代表的な漢字または漢字かな混じりで示し、外国語・外来語は原語のつづりを示した。

いれずみ 【入れ墨】 刺青・文身とも書く。

ウイスキー 【whisky】

ただし、原語のつづりでイタリック体は、植物を属名として取り上げた場合を示す。

アロエ 【Aloe】

項目の配列

- 1) かな見出しの五十音順に配列し、清音→濁音→半濁音の順とした。

{ しんくう 【真空】
しんぐう 【新宮(市)】
じんぐう 【神宮】
はい 【肺】
ばい 【蝨】
パイ [pie]

- 2) 促音・拗音などの小字は直音より前に配列した。

{ じゅう 【銃】
じゅう 【自由】

- 3 長音の〈ー〉は音順から除外したが、同格の場合は長音のあるほうをあとにした。

{ あへん 【阿片】
アーヘン [Aachen]

- 4 同音のものは次の順とした。

- a) 見よ項目→解説のある項目

{ あか 【赤】 ⇨ 色
あか 【垢】

- b) 普通名詞→固有名詞

{ じゅんし 【殉死】
じゅんし 【荀子】

- c) 固有名詞では地名→人名

- d) 町名などで同音の場合は北から南への順

- e) 人名などで同音の場合は生年の早い順

- 4 生物の科名・種名および岩石・鉱物・元素・化合物などのうち、教科書・専門書でかたかなの表記が慣用になっているものは、それになった。ただし、生活語として成語化されている語はかたかなの表記を用いない。

- 5 年代は、原則として西暦で示した。ただし、国内に関する記述の場合は、その項目の初出の箇所に年号を併記した。

- 6 外国地名の表記は、原則として文部省編《地名の呼び方と書き方》によった。人名も地名に準じた。

- 7 外国語・外来語の表記については、〈項目の見出し〉に準じた。

特別大項目

〈特別大項目〉はページを改め、各ページの上下にけい線を入れて一般項目と区別した。したがって、五十音順による項目配列の当該の位置には、その特別大項目のあるページ数を示した。

大項目の例

うちゅう

宇 宙

すべての天体とそれを含む全空間、いいかえれば物質・エネルギーが存在する……

用字用語

- かなづかいは、歴史的かなづかいで示す必要のある場合を除き、すべて現代かなづかいを用いた。
- 送りがなは、原則として《送りがなのつけ方》(1959年内閣告示)によった。
- 漢字は、原則として《当用漢字音訓表》の範囲で用いた。ただし、固有名詞・歴史的用語・術語などは当用漢字以外のものも使い、()の中にその読み方をひらがなで示した。

人口統計の数値

- 日本の都道府県市町村の人口は、自治省行政局編《昭和55年版住民基本台帳に基づく全国人口世帯数表》によった。ただし、10,000以上の場合は100の位で、10,000以下の場合は10の位で四捨五入した。
- 都道府県市の産業三大別人口比(農林水産業などの第1次産業、鉱業・建設業・製造業などの第2次産業、商業・金融業・運輸業・サービス業などの第3次産業の人口の割合)は、総理府統計局編《昭和50年国勢調査報告》によった。
- 外国およびその地域・主要都市の人口は、主として国際連合編《人口統計年鑑1975年版》によったが、他の資料によって補ったところも多い。

地 図

- 日本の都道府県と8地方、世界の独立国と6大州には多色刷り地図を設け、また日本の大都市や国立公園などには観光の便などを図って考案した地図が設けてある。
- 地図の記号は一般の地図記号に準じているが、都市記号の人口による段階は各図に凡例がつけてある。
- 都道府県と独立国の地図の地貌表現は、等高線段彩で示した。しかし、全貌をとらえやすくするために等高線示度を図によって変えてあり、その数値は各図中の等高線の上に記入してある。
- 地図中の地名の表記は、本文の地名表記の基準に従っ

た。

符号・記号

解説文中に用いた、おもな符号・記号は次のとおりである。

⇒ 指示した項目にこの項目の解説があることを示す。

かんさいべん 【関西弁】 ⇒ 方言

しょせき 【書籍】 ⇒ 図書

サイン ⇒ 正弦

ジンフイズ ⇒ カクテル

→ 解説文中または末尾につけて、参照・関連項目を示す。

抽象主義(→アブストラクト-アート)は、
従来の漢方(→東洋医学)を背景としたもの

あいいろ 【藍色】 ……(解説)……。→色

* 解説文中の用語の右肩につけて、その語が項目として別に立てられていることを示す。

あんざんがん 【安山岩】 中性の火山岩*。

いほうじん 【異邦人】 カミュ*の小説。

【】〈〉 解説文中に中見出し・小見出しを施し、解説内容の整理を図ったことを示す。

アイヌの場合

【名称・歴史】

【生活】

【衣食】

【住居】

【風俗習慣】

【音楽】

貨幣の場合

【種類】

【制度】

【歴史】〈西洋〉〈中国〉〈日本〉

〈〉 引用文または強調する語であることを示す。

日本国憲法第9条に〈日本国民は、正義と ……
戦没者の塔や〈ひめゆりの塔〉〉などがあり、 ……

《》 書名・曲名・題名を示す。

《日本書紀》

《カルメン》

() 語句の言い替え・補足説明や、年号の併記などを示す。

病変米(黄変米)

燃料ガス(都市ガス)

慶長年間(1596~1614)

1872年(明治5)

() 読みがなであることを示す。

石川啄木(たくはく)

伊豆(いず)半島

香港(ホンコン)

科学記号・略符号

本事典では、次の範囲で単位記号・略符号を用いた。ただし、必要に応じてこれら以外のものも用いた。

mμ	ミリミクロン	cal	カロリー
μ	ミクロン	Cal	大カロリー(栄養学で)
mm	ミリメートル	℃	セ氏温度
cm	センチメートル	*K	絶対温度
m	メートル	A	アンペア
km	キロメートル	V	ボルト
cm ²	平方センチメートル	W	ワット
m ²	平方メートル	kW	キロワット
km ²	平方キロメートル	kWh	キロワット時
cm ³	立方センチメートル	km/秒(分, 時)	速さ
m ³	立方メートル	%	パーセント
cc	1/1000リットル	‰	パーミル
ml	ミリリットル	ppm	ピーピーエム
l	リットル	mmHg	水銀柱ミリメートル
g	グラム	pH	ピーエイチ
kg	キログラム	°	度・分・秒(角度・緯度・経度)
t	トン		

装丁 田中一光

特別大項目目次 第Ⅰ巻

飛鳥時代	104 (ページ)	学習院大学教授	黛 弘 道
安土桃山時代	124	学習院大学教授	児 玉 幸 多
圧 力 団 体	128	拓殖短期大学助教授	木 暮 正 義
アナーキズム	136	慶応義塾大学助教授	白 井 厚
アブストラクト-アート	148	東京国立近代美術館	三 木 多 聞
アメリカ文学	200	慶応義塾大学教授	大橋吉之輔
イギリス文学	302	東京大学教授	日 高 八 郎
生 け 花	311	日本女子大学教授	大井ミノブ
イスラム教	344	東京外国語大学教授	牧 野 信 也
医 療 制 度	424	国立公衆衛生院	西 三 郎
印 刷	448	九州産業大学教授	長 野 昌 隆
インテリゲンチア	462	中央大学教授	樺 俊 雄
インフレーション	480	学習院大学教授	渡部福太郎
ウ イ ル ス	488	国立予防衛生研究所	吉 池 邦 人
浮 世 絵	512	東京国立博物館	菊 地 貞 夫
宇 宙	536	東京大学教授	守 山 史 生
宇 宙 開 発	538	明治大学教授	新 羅 一 郎

あ

ああぎょくはいにはなうけて 【ああ玉杯に花うけて】 佐藤紅緑の代表的な少年小説。貧しい家の少年青木千三(せんそう)が友情にささえられ、艱難(かんなん)にうちかかって、第一高等学校入学の栄冠をかちとるまでの話を描いたもの。1927年(昭和2)から翌年にかけて雑誌《少年倶楽部(くらぶ)》に連載、圧倒的好評を博した。紅緑の作品の三大主題—立身出世主義・刻苦勉勵主義・友情がみられる点で紅緑の少年小説の典型とされる。題名は一高の寮歌による。〔大藤幹夫〕

あい 【藍】 双子葉植物・タデ科の一年生草本。タデアイともいう。最も古く中国から輸入された染料植物。茎は紅紫色で、高さ50～60cm。葉は長楕円(ちようだえん)形で先はややとがり、長さ7～9cm。乾燥すると黒っぽい藍色となる。秋の初め、茎の先から出た枝にたくさん紅色の小花を穂状につける。全草にインジカン(加水分解を受けてインドキシルとなり、さらに酸化されるとインジゴ*となる)を含む。果実は黒っぽい色2mmほどで、漢方では解熱薬として用いられる。〔小清水義隆〕

あい 【藍】 天然染料の植物染料の一種。藍を含む植物はマメ科・コマツナギ属のインドアイ、アブラナ科のセイヨウタイセイ、タデ科のタデアイ、キツネノマゴ科のリュウキュウアイなどである。藍をつくるにはこれらの植物の葉を発酵させて遊離靑藍(せいらん)とする。日本では古くからタデアイ・ヤマアイが利用され、藍の生産では阿波(あわ)(徳島県)が著名であった。藍は石灰とふすまを用い暖めて還元して染色し、空气中で酸化発色する方法で紺色を染め、淡色では浅葱(あさぎ)・花色・納戸(なんど)などの色が染められた。かすり・しま・小紋・中形・無地などの藍染め物が広く普及した。しかし、人造染料のインジゴ*が発明されてからは天然藍の需要もしいに減り、現在ではきわめて少ない。→藍色 〔小川安朗〕

あい 【愛】 愛はつねになにかを新たに生み出していく働きである。この働きには二つ以上の力が結合し協同する。①自然の段階では、雌雄の両極が引き合い、働き合う性愛の形をとる。ギリシア語のエロスは

これを表わしている。自然的なエロスは生殖と成長の形で前進する。人間の段階でも、この愛は肉体的欲求と根源的に一つとみられているが、プラトン*は、《饗宴(きやうえん)》の中で、その前進する働きを上昇過程でとらえ、自然的・肉体的な愛欲ないし恋愛から美しいものの制作やよい行為、さらに知識(真理の認識)への愛(哲学)へとたえず物的なものから浄化されながら、ついに突如として美のアイデアの神秘的な観照に至る道を説いた。これがいわゆるプラトニックラブである。肉体からの精神の浄化は、地上



ア イ

の愛と天上の愛を分ける。ルネサンス初頭では、キリスト教を背景にこの区別が強調された。また、上昇する愛は豊かさ(完全さ)を求めながら、満たされてもお貧しさ(不満・不完全)を残すから、プラトンはこのエロスをペニア(欠乏の女神)とポロス(富有神)の間に生まれたダイモン(魔神・半神)として、神話的に物語っている。このギリシア的なエロスは文化生産の力でもあって、現代、再び盛んに活動している。②これに対して、生まれたもの(子)に対して生むもの(親)からの、いわば上からの愛がある。これがアガペーである。この愛も母性愛と父性愛に分けられる。聖母は前者を代表するが、キリスト教の創造神は父性愛を代表する。この神の愛のもとに、神の子たちである人間どうしの隣人愛がなりたつ。これは、アリストテレスが友人間に働く愛として尊重したフィリア(友愛)に対応する。③フィリアは、もと自己愛を中心に自己と同列に存在する他者の自己を同等に尊重し合うことに発展する。エロスとアガペーが縦の関係だとすれば、フィリアは横の関係・広がりを示すであろう。これは同性間



- 1 藍染め染料のすくも(右)と、すくもをとるタデアイ
- 2 糸を、藍がめに浸して染める
- 3 藍染めした糸の乾燥
- 4 明治時代の藍染めの見本帳

藍

にも異性間にもなりたつ。自己愛のうちに閉ざされたナルシズムは、この友愛によって他己愛へと開かれねばならない。現代の社会にたえずきびしく要求されている世界同胞愛や人類愛も、よい人格をもった友人相互になりたつ友愛を完全な愛とし、原動力としてのみ達成されよう。〔村治能就〕

仏教においては、愛を肉体的・感覚的な愛と、精神的・理性的な愛との2通りに分けて考える長い歴史を有している。人生についての仏教の古い説明の形式の一つである〈十二縁起〉の中にあっても、愛は人間存在の原因となる一つの要因と考えられている。その意味では、愛は人間にとって不可避のものともいえるが、仏教ではこの愛をもってそのまま理想へ到達する要因とは考えず、これだけでは動物的存在としての人間に付随する欲望の愛(欲愛)であるとしている。この欲愛を脱して、理想の境地にまで高めるには、愛そのものを真実と一致させなければならない。個人の本能に基づいた個別的な愛、名利の愛、性の愛などは汚れた愛(染汚愛)とされ退けられる。法に基づいた愛、広く自と他を愛する愛こそ汚れなき愛(不染汚愛)とされ、これこそ仏・菩薩(ぼさつ)の愛とされる。この考えはインド仏教の最終形態まで変わらず、理(真理)こそ愛とされていた。〔金岡秀友〕

アイアイ [aye-aye] 哺乳(ほにゅう)類・霊長目・アイアイ科。マダガスカル島にすむ原猿(げんえん)の一種。1科1属1種の珍しいもので、原猿の中でも最も下等なものといわれる。頭胴長約40cm、尾は約60cmで、深い毛におおわれ、一見キツネに似る。体色は全般的に黒みがあり、顔から腹は黄白色。指は長く足の親指のみ平づめ、他はかぎづめである。熱帯降雨林にすみ、完全な夜行性。昼は果をつかって寝る。食性はこん虫を主食とした雑食。高く鋭い金属的な声で鳴く。単独生活をし群れをつくらない。〔河合雅雄〕

アイアス [Aias] ギリシア英雄伝説上の武将。

①大アイアス。サラミスの王テラモンの子で、トロヤ戦争に参加したギリシア方の軍勢にあって、アキレウスに次ぐ武将。身体巨大で、腕力・勇氣ともにすぐれ、ギリシア勢を率いて獅子(しし)奮迅の活躍をする。敵将ヘクトルとの一騎打ち、怒りを解かぬアキレウスとの会見、オデュッセウスとのすもうなどで知られる。アキレウスの死後、その武具の相続をオデュッセウスと争い、敗れて狂死したとされるが、死については諸説がある。

②小アイアス。ロクリスの王オイレウスの子でロクリス勢を率いてギリシア方に加わる。しばしば大アイアスと組んで行動するが、武将としての骨からは比ぶべくもなく卑しい。トロヤ王女カッサンドラを凌辱(りやうじやく)したためアテナ女神に憎まれ、ギ

リシアへの帰還の途中海難にあい溺死(てきし)した。〔松田 治〕

アイアールビーエム [IRBM] intermediate range ballistic missile の略称。準中距離弾道ミサイル。射程1,500～3,000kmで、代表的なものはジュビター・ボラリス(いずれもアメリカ)・T-2(ソ連)など。

アイイー [IE] ⇒インダストリアル・エンジニアリング

あいいくけんきゅうじょ 【愛育研究所】⇒教育研究所

あいいろ 【藍色】色名。やや暗く、鈍い青色。本来は藍で染めた色をいい、わが国では古くから好んで用いられてきた。藍染めの濃い色は紺色といい、紺ほど濃くない藍色は縹(はなだ)色といったが、これには深縹(こきはなだ)・浅縹(うきはなだ)があり、水縹(みきはなだ)は最も薄く、納戸(なと)色である。また、ごく薄い藍色の〈かめのぞき〉は、藍がまだよく染まりきっていない、つまり、藍麴(あいかめ)をのぞいてみたぐらいの色の意味である。日本工業規格(JIS)慣用色名〈アイ色〉は、色相2.0PB、明度3.0、彩度5.0の色と規定されている。→色 〔武井邦彦〕

アイエーイーエー [IAEA] ⇒国際原子力機関

アイエーエスワイ [IASY] ⇒太陽活動期国際観測年

アイエーエフ [IAF] ⇒国際宇宙航行連盟

アイエスオー [ISO] ⇒国際標準化機構

アイエーティーエー [IATA] ⇒国際航空運送協会

アイエムエフ [IMF] International Monetary Fundの略称。国際通貨基金。1944年7月1日に議決された国際協定(いわゆるブレトンウッズ協定)に基づき設立された国際金融機構。1947年3月1日、加盟国わずか40か国で業務を開始し、1969年12

月現在加盟国は115か国に達し、ソ連圏を除いたほとんどすべての国が参加している。IMFは、各国が相互に協議協調して、為替(かわせ)相場の安定、制限的または差別的な通貨措置の撤廃を図り、自由かつ多角的な国際貿易および決済を維持し促進することを目的としている。日本は1952年8月、2億5,000万ドルの割り当て額をもって加盟した。

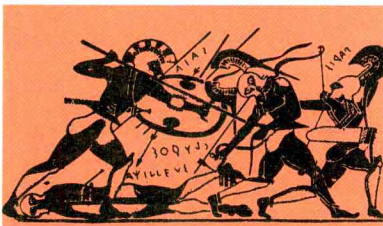
【組織】IMF加盟国は、金または1944年7月1日現在の純分と量目を有するアメリカのドルで自国通貨の為替平価を表示し、この為替平価を維持する義務を負っている。すなわち直物(じきもの)為替の取引に実際に適用される為替相場、つまり直物取引相場の変動幅を、平価の上下1%内に維持しなければならないことになっている。ただし、基礎的不均衡が存在すると認められる場合には、IMFの承認のもとに、各加盟国は為替平価を変更することができる。

また各加盟国は、それぞれ割り当て額が決定されていて、その割り当て額に相当する額を金および自国通貨でIMFに出資することになっている。一般的には、各加盟国は、自国の割り当て額の25%を金で、残りの75%を自国通貨で出資する。加盟国の割り当て額は、IMFの業務開始の時期には総額74億1,250万ドルにすぎなかったが、1969年7月現在では209億8,760万ドルに増加している。各加盟国は、IMFに割り当て額を出資するかわりに、国際収支の赤字の発生その他の理由で外貨の不足に直面した場合には、金または自国通貨を対価としてIMFから所要外貨を買い入れることができる(金を対価とする場合には、まったく無制限に所要外貨を買い入れることができるが、実際には金を対価とすることはほとんどない)。ただし、その場合特定の外貨が現実に必要なむねをIMFに明示して審査を受け、IMFによって適格と認められた場合にのみ所要外貨を買い入れることができる。その限度は5年間にわたって最高割り当て額の125%までで、所要外貨を買い入れた各加盟国は金または交換可能通貨でIMFの保有する自国通貨を買いもどすことを義務づけられている。買いもどしを義務づけているのは、IMFの資金が回転的に運用される資金であることから当然であるが、買いもどしが加盟国の通貨準備の増減と関連して規定されているのは、加盟国がIMFから外貨を買い入れて不当に自国の準備を蓄積したり、あるいは買いもどしの義務が準備の減少しつつある加盟国に対して不当の圧迫を加えたりすることがないように考慮されているからである。

さらに、加盟国の一般的義務として、經常取引に関する制限を撤廃すること、差別的通貨措置を撤廃すること、および外国が保有する自国通貨残高の交換性(いわゆる自国通貨の対外交換性)を維持することが規定されている。この加盟国の一般的義務



アイアイ



アイアス(大) アキレウスの遺体をめぐってトロヤ方と戦うアイアス(左)。右はアキレウスを弓で射たパリス

はIMF協定第8条に規定されているが、IMF設立当時における世界経済の混乱期には大多数の加盟国は厳格な為替管理・差別的措置などを施行しており、この第8条の義務を直ちに引き受けることが不可能な状態に置かれていた。そこでIMFの業務開始の時期より5か年間を〈戦後過渡期〉と定め、加盟国は戦後過渡期に関するかぎり第8条の義務を免除される旨の規定が設けられた。

【運営方法】IMFは総務会および理事会の管理のもとに運営される。総務会はIMFの最高意志決定機関であり、各加盟国ごとに任命される総務1名および総務代理1名によって構成されている。総務会は年1回開催される年次総会のほか総務会の決定または理事会の招集によって開催される。理事会は、IMFの一般的業務を運営する責任を有し、このために総務会から委任されたすべての権限を行使する。理事は12人以上であり、そのうちから選出された専務理事が理事会の議長となる。また専務理事は、IMF事務職員の長として理事会の指示・監督のもとにIMFの業務を運営する。IMFの設立当時においては、第8条に規定された加盟国の一般的義務を履行することができたいわゆる8条国は、アメリカその他のわずか5か国にすぎず、大多数の加盟国は〈戦後過渡期〉の規定を利用して為替管理その他の制限的措置にたよらなければならなかった。設立当初、IMFは、厳格な審査のもとに適格と認められた加盟国に対してのみ外貨を供与するにすぎなかったため、大多数の加盟国は外貨の供与を受けることができなかった。また、ヨーロッパ復興計画の発足に伴って、IMFは、1948年4月以降、復興計画参加国に対する外貨の供与を事実上停止してしまったため、設立当初におけるIMFの実績はきわめて制限されたものにすぎなかった。

【活動経過】IMFの規定した5か年のいわゆる〈戦後過渡期〉は1951年2月までに終了したが、大多数の加盟国において為替管理その他の制限は緩和されるどころかかえって強化される傾向にあり、いぜんとして8条国も当初からの5か国にすぎなかった。ヨーロッパ復興計画は1951年6月に中止され、IMFは各加盟国との個別協議を通じて為替管理その他の制限的措置の緩和ないしは撤廃に努力するとともに、外貨の供与に関して新しい方針を打ち出した。

1951年5月、IMFは加盟国が国内通貨価値の安定、為替管理その他の制限的措置の緩和などIMFの目的に合致する具体的計画を実施する場合にはこれを支持し、必要とする外貨資金を供与することになり、外貨の供与を受けた加盟国は3年ないしは5年のうちに返済すればよいことになった。1952年にはいって、IMFの外貨供与はいっそう寛大になり、ゴールド・トランシュの範

囲内(各加盟国通貨のIMF保有額が、その国割り当て額の75～100%の範囲)では、加盟国に対してほとんど問題なしに外貨の供与を行ない、またファースト・クレジット・トランシュ(100～125%)の範囲内でも、加盟国が自国の問題の解決に努力していると認めるかぎり、外貨の供与を行なうことになった。1952年10月にはスタンダード・バイ協定に基づくIMFの新しい外貨供与方式が導入された。これによって加盟国は、現在直ちに外貨の供与を受ける必要がなくても、事前に外貨の供与を受ける権利を確保しておくことが可能となった。

しかし、新しい方針にもかかわらず1950年代の前半期にはIMFの外貨供与は比較的少額にすぎず、1950年代の後半期にはいってやっと積極的になりはじめた。ことに1956年7月のスエズ動乱の勃発(はつぱ)により諸加盟国の国際収支困難が発生した際には、IMFはきわめて積極的に多額の外貨供与を行なって諸加盟国の危機を救済した。1958年10月、ニューデリーで開催された第13回年次総会ではIMFの割り当て額を50%増額する提案が行なわれ、1959年2月に正式に可決された。

1958年12月にヨーロッパ主要諸国の通貨の交換性が回復され、これら諸国は1961年2月に8条国となり、世界経済は自由化の段階に移行した。自由化への移行に伴ってIMFは外貨の供与に関して新しい方針を導入した。①従来、IMFの供与する通貨はもっぱらアメリカドルに集中されていたのであるが、1960年以降、IMFはいずれの加盟国に対しても数種類の交換可能通貨に分散して外貨の供与を行なうようになった。このことによってIMFはドル手持ち額を枯渇させる危険を免れ、また加盟国の要求に応じて一時に多額の外貨を供与することが可能となった。②IMFは、その当初から原則として資本移動のために必要な外貨を供与することは、例外的な場合を除いて一般に認めなかった。しかし、自由化が進行するにつれて国際間に短期資本の移動がひんぱんとなり、しばしば各加盟国の国際収支の困難を助長する傾向が生じたため、1961年7月にIMFは短期資本の流出によって困難に直面した加盟国に対しても、その加盟国が国際収支均衡化のために適当な措置をとることを条件として外貨の供与を行なうことになった。③1962年1月、IMFは加盟国10か国との間に一般借入れ協定(GAB)を締結し、IMFが必要な場合にはいつでも規定された限度額まで参加加盟国からその国通貨を借り入れることを取り決めた。

【今後の問題点】1950年代以降においては、IMFは世界経済情勢の推移に即応して巧妙に運営され、その活動はますます積極的かつ弾力的になった。戦争直後の混乱期から世界経済の自由化体制の確立に至るまでの長い過程においてIMFが国際金融面におい

て払ったなみなみならぬ努力とその業績は高く評価されなければならない。しかし、自由化体制への移行が国際金融界の前途に明るい期待を生みだしたおりもあり、ドル不安の発生によって国際金融界は根本的な問題に直面しなければならなかった。この問題をめぐって多くの議論が展開され、1963年10月には主要諸国10か国の蔵相会議が開催された。十か国蔵相会議は、この問題について徹底的な討議を行ない、1967年8月、新しい準備資産としてIMFが特別引き出し権(SDR)を創出する提案を発表し、このSDR創出案は同年9月、リオデジャネイロで開催されたIMF第22回年次総会で議決された。IMFは、従来からの一般的引き出し権(GDR)に加えて新しくSDRを創出することによって今後ますます国際金融の中心機構として重要な役割を演ずることになるであろう。→SDR →国際通貨

〔安井孝治〕

アイエルオー [ILO] International Labour Organizationの略称。国際労働機関。第1次世界大戦後の1919年(大正8)6月28日、ベルサイユ条約第13編(国際労働規約)に基づいて国際連盟の一機関として創設された。第2次世界大戦勃発(はつぱ)のため、国際連盟は解消したが、ILOは単独で存続し、1945年(昭和20)第27回労働総会で国際労働規約を修正、国際労働機関憲章を採択した。1946年第29回労働総会において国際連合の専門機関の一つとして再発足した。本部は当初ジュネーブにあったが、第2次世界大戦の勃発によって所在地をカナダのモントリオールに移し現在に至っている。加盟国は121(1970年2月)。

ILOには、総会・理事会・事務局の三つの機関がある。総会はすべての加盟国から各国4名の代表者によって構成される。4名の代表者のうち2名は政府の代表者であるが、他の2名はそれぞれ使用者と労働者の代表者であり、このような三部制の代表方式は、他の国際機関にはみられない特色である。理事会は執行機関であり、政府代表20名、使用者と労働者の代表それぞれ10名、合計40名からなる。政府代表のうちの10名は主要産業国を代表し、他の10名は総会における政府代表が選挙した国の代表者である。

ILOの目的は、社会正義を推進することにより恒久平和の実現に貢献すること、および国際的活動により労働条件および社会的安定を促進することである。この目的を達成するために種々の機能をもつが、最も重要なものは国際条約と勧告という二つの形式をとる準立法機能である。これらは総会において出席代表の3分の2の多数によって採択される。採択された条約は批准を必要とし、各加盟国はその条約を〈権限ある機関〉に付議して立法その他の措置をとる義務がある。このような条約を国際労働

条約(ILO条約)という。

わが国は1919年のILO創設に参加し、1938年11月に脱退するまで常任理事国として活動した。1951年11月に再び加盟が承認され、1954年から主要産業国として常任理事国となった。わが国はILO総会が採択した条約について積極的に受け入れようとしており、すでに批准したものではILO87号条約(結社の自由および団結権の保護に関する条約)・98号条約(団結権および団体交渉権の保護に関する条約)・100号条約(同一価値の労働についての男女労働者に対する同一報酬に関する条約)などが重要なものであるが、特に87号条約は大きな問題となった。87号条約は結社の自由と団結権の擁護に関する条約で、98号条約が労使相互の関係での団結権・団体交渉権の擁護を目的としているのに対して、国家権力からの団結権抑圧に対する保障を重点に、団結権擁護のために国家が必要な措置をとるよう義務づけたものである。労働者側の強い要望にもかかわらず、条約が関係国内法(国家公務員法・地方公務員法・公共企業体等労働関係法・地方公営企業労働関係法)と抵触するため政府は批准に手間だったが、ILO調査団が来日し、国際自由労働組合連盟が関与するなど国内的のみならず国際的にも大きな問題となり、結局1965年に関係国内法が改正され、条約は1966年6月14日に発効した。〔広部和也〕

あいおい 【相生(市)】 兵庫県南西部の市。明治後期の造船所設置以後発展し、1942年(昭和17)市制施行。人口41,000。

播磨灘(はりなだ)に臨む相生湾の湾奥部にあり、産業三大別人口比は4:54:42。石川島播磨重工業の造船所や関連工場が多く、〈造船の町〉とよばれる。山陽本線と赤穂(あこう)線の分岐点で山陽新幹線の駅もあり、国道2号線・250号線に沿う。海岸は風光が美しく瀬戸内海国立公園に含まれる。長崎から取り入れた年中行事(ペーロン競走)(6月初旬)、朝鮮ふうの石仏である羅漢仏(らかんぶつ)など観光資源に富む。

アイオーシー 【IOC】 ⇒国際オリンピック委員会

アイオージェー 【IOJ】 ⇒国際ジャーナリスト機関

アイオロス 【Aiolos】

①ギリシア神話で、浮き島アイオリアに住む風の支配者。ホメロスの《オデュッセイア》では、神々と親しい人間として描かれたが、オデュッセウスに対しては逆風を封じこめた袋を与えて帰国をはばんだ。また、ローマの詩人ウェルギリウスの《アエネーイス》では、彼は風の神で風を洞穴(どうけつ)に閉じ込めているように描かれている。

②ギリシア人(ヘレネス)の祖とされるヘレンとニンプのオルセイスの子で、アイオリス人の伝説上の祖。

アイオワ(州) 【Iowa】 アメリカ合衆国



アイガー クライネ・シャイデックから見たアイガーの北壁。ここから北壁の登攀者を目で追うことができる

中北部の州。面積14万5,000km²、人口279万3,000(1970)。州都デモイン。1846年12月合衆国第29番めの州となる。州名は〈眠られた人〉の意のシウ・インディアン語に由来する。肥沃(ひよく)なコーンベルト(トウモロコシ地帯)にあって、農業生産高はカリフォルニア州に次いで合衆国第2位であり、農産物の加工業が主である。ブタの飼育頭数は合衆国第1位。また農業機械製造を中心とする工業が急速に発達してその生産額は1967年で農業所得の3倍となった。主要都市はデモイン・シーダーラピッズ。

〔樺村大彬〕

アイガー(山) 【Eiger】 ヨーロッパアルプスのうち、西アルプスに属するベルニーズアルプスの高峰。標高3,973m。スイス中南部のグリンデルワルトの南南東約11kmに位置する。初登頂はイギリスのバリントン(1858)。アイガー北壁は1,800mの絶壁で、グランドジョラス・マッターホーンとともにアルプスの三大北壁とよばれ、アルプスの中でも登頂が最も困難だとされる。



藍型

日本人では高田光政(みつまさ)が1965年(昭和40)登頂に成功した。東山稜(きんりょう)は横有恒(まさありつね)が1921年(大正10)に初登頂したものである。〔大石堪山〕

あいかた 【合方】 三味線(しおせん)音楽で歌と歌との間に置かれ、かなり独立性の強い器楽だけの部分をいう。長唄(ながうた)《越後獅子(えちごじい)》のように、踊りのための曲では〈きらしの合方〉のように踊りの技巧に結びついた構成の合方が置かれている。一方、踊りと関係のない長唄《吾妻八景(あづまはっけい)》や《秋色種(あきいろくさ)》では、歌詞の内容と関連しながらも音楽的に独立した構想でつくられた合方が、三味線の技巧を伴って組み込まれている。特に後者の《虫の合方》は名高い。〔徳丸吉彦〕

あいがた 【藍型】 琉球(りゅうきゅう)の型染めの一をいい琉球では〈ええがた〉という。各種の顔料を用いた多色な紅型(ひんがた)に対し、本来は藍一色に染め上げたものをいう。庶民的でふだん着として用いられたところから、一般には麻・芭蕉布(ばしやうふ)・桐板(とんぱん)・もめんに染められ、絹には染められない。白地に藍の濃淡で文様を染め上げた浅葱(あさぎ)花取り、紅などの色をごくわずかに加えた紅入り藍型など、多少の変化を加えたものもある。

あいがも 【合鴨】 本来はナキアヒル(アヒルとマガモの飼育交配種およびマガモの飼育種の両方)のことであるが、肉用鳥の商品名としてアヒルのことをアイガモともいう。

あいかわ 【相川(町)】 新潟県佐渡郡の町。人口13,000。佐渡島の西岸、大佐渡山地の南西のふもとにある。1601年(慶長6)

佐渡鉱山^{*}が発見されて以来、金鉱の野として繁栄し、人口も一時は10万を越えたといわれる。江戸時代の末期になって金の産出が減り、現在は三菱^(みつびし)金属の子会社の佐渡金山株式会社の手により、わずかに採掘が続けられている。金山や佐渡奉行所^(さくようしよ)などの遺跡は観光客を集め、また尖閣^(せんかく)湾や、外海府などの海岸が美しい。毎年7月25～27日に行なわれる鉱山祭りの鬼太鼓と春駒^(はるこま)踊りは鉱山の全盛時代をしるす。伝統的な工芸品として無名異焼がある。

あいぎ 【合着】 冬と夏の間、すなわち春や秋の季節に着る、冬物でもなく夏物でもない衣服。〈間着^(あいぎ)〉という字があらわれ同意語に解釈することがあるが、これは着物の上着と下着との間に着るものの意で区別する。→合衣服

あいぎ 【間着】 女物長着^{*}の一種。打ち掛けの下に着る長着で、本来長着^{*}(江戸時代、小袖^(こそで)といった)の3枚重ねの上1枚を表着^(うわぎ)、次に重ねるのを間着、その下に重ねるのを下着とよんだ。→小そで

あいきどう 【合気道】 武道の一種であるが、すぐれた護身術また健康法として特に第2次世界大戦後盛んとなり、国内はもとより海外にも諸所に道場が設けられている。もとは古流柔術の大東流合気柔術の流れをくむ。伝書によれば、源義光^(よしみつ)を始祖とし、甲斐^(かい)(山梨県)の武田^(たけだ)家から会津(福島県)の武田家へ伝わったもので、大正時代末期、武田惣角^(そうかく)の高弟植芝盛平が合気術または合気武道として大東流から独立し、第2次世界大戦後に合気道と改称した。基本の技法としては体の転換法、投げわざ、固めわざがあるが、相手の身体各部の関節を逆にとるわざに特色がある。〔呉 政男〕

アイキュー 【IQ】 ⇒知能指数

アイキューエスワイ 【IQSY】 ⇒国際太陽極小期観測年

アイキューせい 【IQ制】 ⇒輸入割り当て制

あいきょうげん 【間狂言】 アイともいう。能の中で狂言方の演ずる役のこと。普通は前半を終わって前ジテが退場したあと、後ジテが登場するまでの間に、ワキを相手に曲の内容を物語る。すわって語る居語りのほか、神社の下級の神として立てて語る立シャベリやシテ・ワキとともに演劇的な場面を演ずる会釈間^(あしあひり)があり、間狂言だけで一場の独立した劇を演ずることもある。なお、人形浄瑠璃^(じょうるり)や歌舞伎^(かぶき)で、おもな演目・場面などの間にはさまって演じられる軽い一場の出し物のこともいう。〔長尾一雄〕

あいきょうじゅく 【愛郷塾】 ⇒橋孝三郎^(はらたけこうさぶろう)

あいこおうざん 【阿育王山】 アーユワン山 中国浙江^(せうし)省鄞県^(しんけん)にある



合気道 両手持ち入り身突き



アイゴ

山。旧名は鄞山^(しんざん)。3世紀後半、劉薩訶^(りやうさか)がインド古代の仏教帰依者アショカ^(阿育)王の舍利を得てここに祭ったところからこの名がある。晋^(しん)代に建立^(けんり)された阿育王寺がある。明^(みん)の嘉靖^(かせい)年間(1522～1566)に倭寇^(わこう)に襲撃された歴史がある。

あいくち 【匕首】 合口とも書き、鞘^(さや)の鯉口^(いこう)と柄の縁がぴったり合うようにつくった短刀。その長さから九寸五分^(くせんごふ)ともいわれ、中世の短刀は多くこの形式である。隠し持つ武器なので鐙^(よう)がなく、飾りもないのが特徴である。しかし、江戸時代には柄を白鯨^(しらくみ)でつくったり、琴糸で巻いたりした。また、鯉口のところで自家の紋所が合うように描かれたものもあった。無飾りの匕首は多く無頼の徒が懐中にし、これは武器というより凶器といったほうがよい。

あいぐんじょうやく 【愛琿条約】 中国の黒龍江^(くわんりやう)省北部の愛琿で、1858年5月、清^(しん)国(黒龍江将写奕山^(きやうえきざん))とロシア(東シベリア総督ムラビヨフ)の間で調印された条約。阿片^(あへん)戦争後における列強の中国侵略の一環をなすものである。国境線・河川航行権などを規定し、黒龍江左岸はロシア領とし、右岸のウスリー川以東は共同管理として関係河川の航行権を両国船舶に限るとした。清政府はのちにこれを否認しようとしたが、1860年の北京^(ペキン)条約では本条約を確認したのみならず、ウスリー川以東をもロシア領とされるに至った。〔狭間直樹〕

あいご 【藍子】 硬骨魚類・アイゴ科。約30cmになる海産魚。タイやフナに似た形だ

が、体の厚みは薄い。死ぬと全体ほとんど斑紋^(はんもん)のないオリーブ色になるが、生時は黄かっ色を基調として環境の変化に応じて複雑な斑紋を現わす。うろこは非常に細かい。中部日本以南の沿岸にすみ、藻^(も)を食べることが多い。都会の魚屋にはなかなか姿を見せないが、淡白でかなり美味。同属のヒフキアイゴは、黒い頭に黄色の体で口がひょっとこのように突き出ている。日本内地にはいないが、沖繩あたりから運ばれてきて観賞用に飼われている。

あいこくこうしんきょく 【愛国行進曲】 1937年(昭和12)、内閣情報部が選定した公募の国民歌。森川幸雄作詞、瀬戸口藤吉作曲。歌詞は八紘^(はっこう)一字の立場に立つ勇壮なもの、旋律は対照感のある整ったもので、第2次世界大戦終戦まで愛唱された。

あいこくこうとう 【愛国公党】 1874年(明治7)結成された日本最初の政党。征韓論^(せいがんろん)に敗れた板垣退助^(いたがき 退助)・後藤象二郎^(しやうじろう)・副島種臣^(そえじまたねおみ)・江藤新平らは、同年民選議院設立建白書^{*}を出すとともに同党を結成。天賦人權・君民一体の愛国理論を公然と主張、全国的な自由民権運動の口火を切る。同年佐賀の乱勃発^(はつぱつ)とともに発展をみず解消。運動分裂後、主流は板垣退助らの立志社へ移っていった。

あいこくしや 【愛国社】 1875年(明治8)愛国公党関係者、おもに立志社^{*}が中心となり、各地の自由民権運動政社を大阪に集めて結成した最初の全国的政党。当初数十名の士族の参加にとどまり、政治意識の未成熟、資金難、かつ大阪会議後、板垣^(いたがき)退助の入閣により実際の活動をみずに事実上崩壊した。1878年民間政治勢力結集のため再興し、九州・四国など西南地方から東進し東京にも分社を設置した。勢力は最終大会では総代114名、加盟団体27社、北海道を除き2府22県、87,000人に及んだ。1880年第4回大会で国会期成同盟と改称して国会開設運動を展開した。1881年、自由党に吸収合併された。〔千野境子〕

あいこくしん 【愛国心】 自己の属する国や民族に対する愛情ないしは一体観。それはナショナリズム^{*}の形成基盤となる心情である。愛国心は自己の生まれた郷土やその山河への自然的な愛情を含むが、それ自体はむしろ意識的に育てられるものである。愛国心は他国や他民族への対抗関係においてつちかわれるものだからである。18世紀イギリスの思想家リチャード・ブライスは〈国を愛することは自己の属するコミュニティ(共同体)を愛することである〉と述べて、コミュニティが侵されそうなときにその防衛に立ち上がらねばならないとしている。この場合、敵と考えられるのは単に外国だけではなく自国の支配者も含まれる。こうして近代における愛国心は民主主義を守ることであった。現代における愛国

心は主として帝国主義＝植民地主義に対する民族独立運動として展開された。しかし愛国心は支配階級の対外的な膨張主義や国内の反対派弾圧のための武器として利用されることがしばしばあったし、これからもありうる。愛国心は危険な反動的な要素をもっている。それゆえ愛国心は、一概に全面肯定することも全面否定することもできない。重要なことは、いかなる国をいかなる方法で愛すべきかを考えることである。

〔西尾孝司〕

あいこくふじんかい 【愛国婦人会】 1901年(明治34)婦人運動家奥村五百子(いおく)が、陸海軍部・貴族院議長近衛篤磨(このあつまろ)らの援助を得て創立した軍事援護事業を目的とした婦人団体。総裁は皇族妃、会員もはじめは皇族・貴族など上流婦人が中心であったが、日露戦争時には会員は急増し、1905年46万人。援護事業のみならず、思想教化・社会事業に着手したが、昭和に至り、ファッション化の進行中、軍部は婦人会の貴族的性格にあきたらず、1932年(昭和7)、別は大日本国防婦人会を結成した。両団体は激しく対立し戦争協力を競い合ったが、1942年大政翼賛会の下部組織である大日本婦人会に統合された。〔千野境子〕

アイコノスコープ ⇒撮像管

あいさ 【秋沙】 鳥類・ガンカモ科・アイサ亜科の総称。世界に6種を数える。わが国にはウミアイサ・カワアイサ・ミコアイサの3種が渡来し越冬する。ウミアイサはおもに海域に、あとの2種はおもに大きな湖沼に生息する。アイサ類のくちばしは他のカモ類に比べて細長く、その縁に歯状突起がくし状にある。水中にもぐり、このくちばしを使い、主として魚を捕えて食べる。カナダではサケ・マス類の稚魚の害鳥として問題にされることがある。

〔安部直哉〕

あいさつ 【挨拶】 人間関係をなごやかにするための、親愛の情や敬意をこめたことばの語りかけ。黙礼や会釈のように、音声やことばを伴わないものもあるが、これはことばが省かれたものである。極度に形式化された言語表現であり、いろいろの条件、たとえば、話すと書く、未知の人と既知の人、男と女、地域、職業その他の別によって表現方法や表現態度が変わってくる。たとえば、目下の者には「おはよう」と言っても、目上の者にはもっとていねいに「おはようございます」と言ったり、話しことばで「こんにちは」と言うところを手紙では「拝啓」と書いたりする。このような条件の変化に即応できることが社会人としての重要な資格とされることが多い。あいさつには簡素化すべき点が多いが、これまでの慣習に無知であっては礼を失ふつごうが生じる。話しことばでは式辞、祝詞、開会・閉会の辞、悔やみ、わび、見舞い、特殊な社会での仁義なども、広い意味でのあいさつ



アイサ (上)カワアイサ
(下)ウミアイサ

にあたる。

〔芳賀 綏〕

あいざわじけん 【相沢事件】 1935年(昭和10)8月12日、陸軍皇道派の相沢三郎(さふろう)中佐が陸軍省軍務局長永田(ながた)鉄山(少将)を、同局長室で刺殺した事件。同年の天皇機関説問題をめぐり、統制派の永田らは軍の統制強化を理由に真崎甚三郎(しんざふろう)教育総監ら強硬論を主張する皇道派を排除した。すなわち7月16日に真崎罷免、8月2日に村中孝次中尉を免官したことにより、相沢は永田を皇軍を私兵化する者として殺害を断行した。1936年7月相沢は死刑。この一連の事件で二・二六事件が誘発された。〔千野境子〕

あいざわせいしさい 【会沢正志斎】 (1782～1863) 江戸末期の水戸(みと)学者・思想家。本名は安。水戸(茨城県)の人。藤田幽谷に学ぶ。徳川斉昭(なりあき)を擁立して藩政改革を推進し、水戸彰考館総裁となる。のち弘道館(こうどうかん)教授督学兼小姓頭(せしょう)となり、後期水戸学の発展に貢献した。主著《新論》は尊皇攘夷(しんおう)運動の理論的支柱となった。神道(しんとう)をもって儒教を説明し、祭祀(さいし)を重んじて崇拜の精神を発揮し、神を祭る心のもとに政治を行なう祭政一致を説き、国体の擁護、国体美の高揚に努め、忠孝道を力説した。

〔熊谷保孝〕

アイシー [IC] ⇒集積回路

アイシーアイ [ICI] Imperial Chemical Industries Ltd.の略称。イギリスの化学薬品会社。1919年、ダイナマイトの製造を開始し、急成長を遂げ、1926年にはイギリスの四大化学工業会社(ノーベル・ブランド・モンド・合同アルカリ・イギリス染料)の合同によって総合化学工業会社に発展した。第2次世界大戦前には広く海外へ進出し、ドイツのイーゲー・ファルベン、アメリカのデュポンと海外市場をめぐって

争い、世界市場を3分割していた。現在でも輸出と国内販売がほぼ同額で、農業用薬品・医薬品・合成繊維・染料・石油精製・プラスチック・建築用品・塗料などの製造・販売を行なっている。農業用薬品では蒸気改質法によるアンモニア・濃縮窒素肥料、合成繊維ではナイロン・ポリプロピレン・ポリエステル、医薬品では麻酔薬、心臓病の治療薬、建築用品では耐熱新建材・壁紙の製造に力を入れている。本社ロンドン。年間売上高35億5,000万ドル、従業員数19万2,000(1969)。〔氏家 尚〕

アイシーエーオー [ICAO] ⇒国際民間航空機関

アイシーシー [ICC] ⇒国際商業会議所

アイジーシー [IGC] ⇒国際地球観測協力

アイシービーエム [ICBM] intercontinental ballistic missileの略称。大陸間弾道ミサイル。射程約8,000km以上で、核弾頭の威力とあいまって、現代の代表的な戦争抑止兵器とされている。米・ソ両国のICBMの保有数が、両国の戦力のめやすとされることがある。

アイジーワイ [IGY] ⇒国際地球観測年

あいしんかくら 【愛新覚羅】 アイシンギョロ 中国、清(しん)王室の姓。満州語でアイシンは金を意味し、いにしへの金朝の支裔(しがい)という觀念に由来する。ギョロは建州女直(→女真)の有力氏族の姓である。太祖ヌルハチは、はじめ満州姓ツンギヤに由来する佟(とう)という中国姓を唱えていたが、1583年挙兵に際し、佟姓を廃棄してはじめてアイシンギョロ姓を名のり、ギョロ族を結集して、統一国家への第一歩を踏み出した。〔若松 寛〕

あいず 【会津】 ⇒あいづ

アイスキネス [Aischines] (BC390～BC330) 古代ギリシアの雄弁家。アテナイの人。苦学力行して書記官となる。BC348年、フィリッポス2世への使節団の一員としてマケドニアにおもむき、逆にマケドニア側についてギリシア側の説得に努めたため、デモステネスの激しい攻撃を受けた。また、BC339年の演説中の無責任な放言は、マケドニアのギリシア内政干渉の遠因となった。彼は演説にあたってしばしば詩文を引用し、聴衆への効果を巧みに計算したが、歴史的展望に欠けていた。技巧的な雄弁によって立身したソフィストの典型のひとりである。〔久保正彰〕

アイスキャンデー [ice candy] 氷菓子。水または果汁(かじゅう)に砂糖その他の甘味料を加えて着色し、フリーザーにかけて凍結させてつくる。ふつう、棒にろうそく形に巻き、または紙に包んで小箱に入れて販売されている。作り方は金属製の箱の中に材料を入れて氷結させるのであるが、フリ